



熊本空港（熊本地区会 吉富 智子）

低気圧・高気圧

令和6年7月7日、当日は鹿児島県知事選挙投票日でしたが、私の74回目の誕生日でもありました。前期高齢者も残り1年となりました。

私自身はまだまだ元気なつもりですので、後期高齢者と言われることに違和感を覚えるのですが、この年齢で、まず直面するのが免許更新ではないかと思います。

前回更新時（71歳）は、更新前に自動車学校で高齢者講習（実車指導）を受けて受講済みの終了証を添えて警察署で更新手続きを行う流れでした。

50年ぶりの指導員同乗の実車指導は、非常に気疲れしました。講習が終わり会場で終了証をもらうまでは、実車講習不可のため再講習の通知が出たらどうするかと考えましたが、その心配は杞憂に終わりました。

しかし、免許更新期間が4年に短縮されました（一応優良ドライバー、ゴールド免許保持者なので、5年のつもりでした）。70歳から74歳は、高齢者講習を受講してから免許更新。75歳以上は、高齢者講習に認知機能検査が加わり免許更新。

来年からは後期高齢者医療保険加入と免許更新時は認知機能検査の受講、有効期限3年と様々な変化が待ち受けている年代となりますが、昨今は後期高齢者による交通事故のニュースが賑わっていますので、当事者とならないよう今以上の安全運転に努めるとともに、これまで以上に心身ともに健康的な生活を心がけて、孫の成長を楽しみにして残りの人生を送ろうと74歳の誕生日に思うことでした。

（鹿児島地区会 七村 義見）

熊本空港の11月・1月は、滑走路の真西に夕日が反射した「だるま夕日」が見られます。便数が少なく、シャッターチャンスは限られますが、夕日をバックに離発着する飛行機の写真が撮れる撮影スポットです。
この写真は、三脚を据えたままじっと待ち、17分後に飛んだ飛行機を合成したものです。

contents

第49回定期総会内	2
記念講演会	4
会員のひろば	16
偏西風・お知らせ・編集後記	21

第49回 九州ミロク会計人会 定期総会

ご挨拶

九州ミロク会計人会
会長 笹田 毅



皆さん、こんにちは。会長の笹田です。熱中症警戒アラートが出ている中、佐賀までたくさんの皆さんに足をお運びいただき、誠にありがとうございます。また、来賓の皆様も暑い中、本当にありがとうございます。ただいまより49回目の総会を行いたいと思っております。

本日参加していただく皆様の人数が、会場出席71名、ウェブでの出席4名、合計75名の方の出席をいただいていると聞いております。毎年70名を超える会員の出席をいただける総会が行えるのは全国でも唯一九州会だけです。会員数で言うと東京会が群を抜いて多いのですが、2番目がこの九州会、その九州会は、後

ほど会員数の報告がありますが、634名ぐらいだったと思います。そのうち80名近くの会員の方の出席があるということです、会運営に対しての皆さんの御尽力、本当に心から感謝申し上げます。

さて、総会ですが、会員数が今申しましたが634名、去年と比べますと若干減っております。その会員数減少の問題であるとか財政上の問題、幾つかこれから考えていかなければいけない問題があります。どうか報告をお聞きになって、建設的な御意見を頂戴できればと考えております。皆さん、十分審議を尽くしていただくようお願いいたします。

総会が終わりましたら懇親会でございます。懇親会も80名ぐらいの参加を予定しております。懇親会が終わりましたら、今年は、佐賀の街の経済を活性化させるために二次会も準備しておりますので、ぜひ御出席を賜りたいと思います。

それでは、これから総会を開始しますので、建設的な御意見よろしくをお願いいたします。

総会

令和6年7月22日（月）第49回九州ミロク会計人会定期総会が佐賀市のホテルニューオータニ佐賀において開催されました。

総会は、吉住総務委員長の司会で始まり、三井副会長が開会の辞を述べた後、物故会員の氏名が報告され、黙祷を捧げてご冥福をお祈りしました。

続いて笹田会長の挨拶の後、議長選出に入り佐賀地区会の白川秀樹会員が選ばれ、議事録署名人に鹿児島地区会の西山勝会員と佐賀地区会の池田健一会員を指名して議事の審議に入りました。

議案1 令和5年度事業報告及び承認について

議案2 令和5年度決算報告及び承認について

吉住総務委員長及び古賀財務委員長から事業報告及び決算報告について詳細な説明があり、柳武監事が監査報告を行い、審議の結果承認されました。



議案3 令和6年度事業計画及び予算（案）承認について

吉住総務委員長及び古賀財務委員長から事業計画及び予算案について詳細な説明があり、審議の結果

承認されました。

議案 4 役員選任について

東役員選考委員長が本総会にて任期が満了する役員がいる旨を述べ、役員候補者名簿を示して詳細な説明があり、審議の結果承認されました。

講演会



定期総会に先立ち記念講演会が開催されました。

講師に佐賀県 SAGA2024・SSP 推進局 SAGA2024 企画広報チームリーダー瀬戸要氏をお迎えし、「SAGA2024 国スポ・全障スポ新しい大会へ。～すべての人にスポーツのチカラを。～」と題して講演をしていただきました。

(記念講演会詳細は4ページ以下)

以上をもってすべての審議が終了しました。

続いて来賓の九州北部税理士会丸山二也会長（武部道孝顧問代読）及び（株）ミロク情報サービスは枝周樹社長から祝辞が述べられ、外園副会長の閉会の辞により総会は、無事終了しました。

懇親会

定期総会終了後、多数のご来賓をお迎えして盛大に懇親会が開催されました。成川福利厚生委員長の司会のもと、来賓紹介が行われ、ミロク会計人会連合会植田会長及び（株）ミロク情報サービス鈴木正徳副会長の挨拶の後、宮本副会長の乾杯のご発声で懇親会が始まりました。



吉田愛さん

懇親会場では、佐賀の地酒も用意され、酒に料理にと舌鼓を打ちながら親睦を深めました。アトラクションでは、2023 ミス・ジャパンで佐賀県職員の吉田愛さんも登場し、会場は大いに盛り上がりました。最後に岡村副会長の一本締めによりお開きとなり、本日のすべての行事が終了しました。（佐賀地区会 池田 健一）



ゴルフコンペ

ゴルフは健康のバロメーター

令和6年7月23日（火）、佐賀県多久市の「佐賀クラシックゴルフ倶楽部」において、「九州ミロク会計人会親睦ゴルフコンペ」が5組19名の参加で開催されました。

当ゴルフ場では、前週、プロテスト第1次予選会（女子プロ）が開催されるなど、難易度も高いコー



スとあって、苦戦された方も多かったようです。

同伴者で、日頃はレギュラーからしか打たない3先輩方も、この日はシルバーからのショットとなりました。4番ドラコンホールでは、100ヤード先にあるシルバーティーを見て「ニヤリ」、「アイアンで打つかな!」、さて結果は、左右のラフに吸い込まれていったのであります。

珍プレーもありましたが、無事終了することができ、大会運営にご尽力いただいた MJS スタッフの皆様には、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後も猛暑が続きますが、暑さ対策を十分行い、健康のバロメーターであるゴルフを楽しみたいものです。（熊本地区会 大津 孝典）



優勝の大津孝典会員



第49回 九州ミロク会計人会 定期総会記念講演会

SAGA2024 国スポ・全障スポ 新しい大会へ。 すべての人にスポーツのチカラを。

佐賀県 SAGA2024・SSP 推進局 瀬戸 要氏
SAGA2024 企画広報チームリーダー

※令和6年7月22日に開催された第49回定期総会の記念講演を要約したものです。

はじめに

皆さん、こんにちは。私は、SAGA2024 企画広報チームの瀬戸といいます。特技は剣道です。どうぞよろしくお願いいたします。(手話で自己紹介)。SAGA2024 国スポ・全障スポには、障がい者の方もたくさんいらっしゃいますので、大会では、手話が大事になってきます。我々もスタッフとの朝礼では、必ず「今日はこの言葉の手話を覚えよう」と、手話をしながら朝を迎えるという日々を送っております。学校に出前授業に行くことも多いですが、子供たちに手話で挨拶すると、目を輝かせながら、「ああ、そういう言葉もあるんだ」と感動してくれます。

今週からパリオリンピックが始まります。九州では北部九州総体が既にスタートしてしまして、開会式は今週末、久留米であります。高校生たちも頑張るし、オリンピック・パラリンピアンも頑張るし、それに続けて SAGA2024 と、今年は例年にないスポーツイヤーです。

SAGA2024は SSP構想の通過点・飛躍点

佐賀県では、SSP (SAGA スポーツピラミッド) 構想というものに取り組んでいます。この構想について、ピラミッドを三角形で表現していますが、これは何を意味しているかというと、下部は遊びだったり健康づくりだったり、スポーツを楽しむ層で、上はオリンピック選手やプロスポーツ選手などのトップアスリート。その中間は、部活動でスポーツに

取り組む高校生だったりします。上を上をと目指す人もいれば、楽しむ人もいます。トップに行ったとしても、いずれ引退した暁には若手を育成する側に回っていただいてこの(下図の)三角形の面積をどんどん大きくしながら、地域の競技力をアップしていくということですが、それだけではなく、ビジネスも含めスポーツの力を活かした人づくり・地域づくり、まさしくスポーツで地域が元気になるということ掲げて取り組んでいます。

具体的には、例えば、アスリートが安心して収入面と競技力向上を両立できる環境をつくるために、県が地域の企業と組んでサポートしたり、中央の競技団体と提携して、佐賀がその競技の聖地になるような仕組みを構築したり。また、女性アスリートには、女性特有の悩みがあるため、病院と組んで女性医師によるきめ細やかな相談の場を提供したり、そういうこともしながら進めています。

また、高校生支援では、企業が所有している建物で、使われず眠っているようなものを、県と企業が



組んで、全国初の官民連携でアスリート寮をつくり、県外など遠方に住む学生が、佐賀に拠点を置いて安心して競技に打ち込める環境をつくることを仕掛けたりしております。

普通、国体を開催するとなると、準備に10年ぐらいかかりますし、終わったら「解散、もう終わった！」みたいになります。しかし、私たちはそうではありません。もともと私たちはこのSSPの観点で未来をずっと見ています。いろいろなことに取り組む中間地点といいますか、重要な通過点、飛躍点として、2024年に開催してそれで終わりではなくて、もっともっと先を見ている。「終わって、さあどうしよう」ということではなく、あらかじめ先を見据えて、その手前、2024は通過点である、一里塚という位置付けでやっております。

SAGA2024の先を見据えて

SAGA サンライズパーク、これは佐賀市日の出地区にあります。それで名前が「サンライズ、パーク——日の出、ですね。もともとここは競技場がありましたが、今回リニューアルして、2階部分でぐるりと道路を渡って反対側の佐賀市文化会館や体育館（SAGA プラザ）が全体でつながっています。奥には、後でまた説明しますが、SAGA アリーナという新しい施設が去年でき、その横には、SAGA アクアというプールもあり、一体的に使えるようにしています。佐賀駅から歩いて15分ぐらいの都市型アリーナです。地方では、近くて二、三分で行けるのに車で行ったりしますが、歩かないと健康面にも支障が出てくるので、歩くことも楽しみながらやろうということで、歩ける場所に集約して整備しています。

SAGA サンライズパークの特徴は、スポーツの大きな大会があるときはもちろん、日常の普段使いも、大規模なイベントにも使えることです。夜になると、ライトアップされ、夜でもジョギングが楽しめたり、イルミネーションを楽しむイベントなども行っています。

SAGA アリーナに行ったことがある方はいらっしゃいますか？ 2023年10月の「九州の風」で、佐賀地区の吉村耕輔様が、アリーナやSAGA2024のことを紹介していただいていた。その寄稿の中で、「有田焼じゃないけど、いい器ができた」と締められていましたが、実は、この形そのものが有田焼のごつごつした陶石をモチーフにされていて、まさしくそうだなと思って拝読しました。

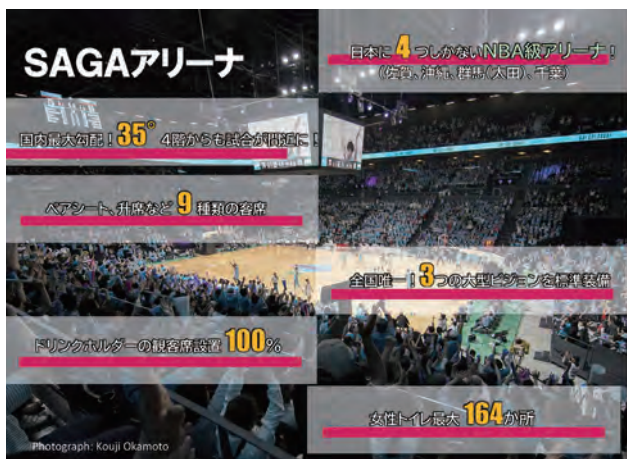


多目的に使える エンタメアリーナ

SAGA アリーナの内部は、こんな感じです。普通、アリーナというと、大きな体育館で箱形になってまして、6面とか8面のコートが第1コート、第2コートとたくさん取れているものを「アリーナ」と称されていることが多いんですが、SAGA アリーナはNBA級といいまして、真ん中に1個だけドーンと競技場があって、それをみんながすり鉢状で上から見下ろすみたいな、こういう本当のアリーナは日本には少なく、とても斬新な造りになっています。

その中身を詳しく見ていくと、まず、最大勾配角度が35度。8,400人収容可能ですが、どこからでもよく見えます。シートも、普通席、ペアシート、あと相撲じゃないですけど升席みたいにして座ったり、9種類の座席があります。ドリンクホルダーも100%設置しています。また、大きなビジョンが中央と壁側にあり、リボンビジョンという細長いものがぐるぐる回るものもあります。この3種類のビジョンが揃っているのは、全国でもSAGA アリーナだけの特徴で、光や音による効果的な演出が可能になっています。

あと、私は観光部門を長く担当していましたが、イベントなどでは、女性のトイレが少ないという声が多いものです。しかし、このSAGA アリーナでは、そこをしっかり対策しており、最大164の女性トイレを用意してあり、イベントに応じて男性トイレがぱっと女性トイレに早変わりする仕掛けがあったり、混雑しないよう導線を考慮した設計になっていたりと、行かれると「こういうことか」とお分かりいただけると思います。



これは3階のプレミアムフロアです。先ほど、SSP構想の説明で、スポーツをビジネスに繋げるといふようなことを申しましたが、こうしたスペースを例えば、スポーツのゲームを見て仕事の相手と楽しみながら商談につなげていく、といった特別な場面で活用していただくなど、そういうこともできるような空間も複数用意しています。佐賀出身の書道家の作品で装飾していたり、この部屋はこの芸術家が、このクリエイターがという部屋があったり、部屋を繋げて細長くし、パーティーみたいにできるところも用意していますので、皆様の企業の会合にもお使いいただけます。

フロアはもともと土間コンです。コンクリートの打ちっ放しになっています。イベントなどで活用するときに、普通、体育館は板張りなので、その上に養生をする必要がありますが、SAGAアリーナでは、その必要がありません。そのため、唐津くんちの曳山も入ったりできる。氷を張ればスケートができます。いろいろなエンターテインメントイベントができます。



稼げるアリーナ

これまで1年間、昨年5月のオープン以来、様々なイベントが行われましたが、有名なところでは、松任谷由実さん—ユーミン、B'z、あと若者に人気のNiziU、ディズニー・オン・アイスなど。一番フィーバーしたのは、羽生結弦さんの公演が開催されたときで、公演に1万人ぐらいい来場されましたが、経済効果が4億8,210万円と。中に一日休みを挟んだ2日間の公演でしたが、その休みも含めたたった3日間で、これだけの効果です。海外からのお客様も多く、しかも、公演日より早く佐賀入りされて、佐賀駅が多くの外国のお客様でいっぱいになりました。公演を見るためだけでなく、県内の色々な場所へ観光しながら滞在を楽しんでいたようです。この3日間のことを、いろいろ調べてみると、意外なことに、羽生さんの愛称の「ゆず」と同じということで、柚子茶とか、柚子胡椒が飛ぶように売れ、たった3日間で1年分の商品が売れてしまったお店もあり、とんでもなくびっくりしました。

イベント一つ一つ、客層は違いますが、それに応じていくことで、佐賀とかは早く店が閉まったりしていたこともありますけれども、イベントに合わせて店を遅くまで開けておくとか、営業日を変更するとか、経済効果が上がってくる一例かなと思っています。

国体から国スポへ

次はいよいよ、2024ということでお伝えしたいと思います。

冒頭、会長からお話がありましたが、去年の国体（国民体育大会）は鹿児島で桜島の灰がすごく降る中で開催されました。

国体では、選手、観客、ボランティアも含め、延べ約70万人が、開催期間中に動きます。佐賀県の人口は80万なので、ほぼそれに匹敵するぐらいの大規模な人が動きます。

また、歴史的に言いますと、78年前の1946年、この年に1回目の国体がありました。とにかく戦後復興といいますか、スポーツで希望と勇気を与える大会をするんだということで、1回目が始まっています。戦後間もない時期で、配給米を持参したり、選手も、主食と毛布を持ってきてキャンプを張ると

いう状況だったようです。北のほうからはリンゴを列車に積んで運んできて、それを宿代として賄うということもあっているようです。

九州での国体の開催を見てみますと、一番早いのは昭和23年の第3回大会が福岡で開催されています。以後、熊本など様々な県で行われ、名前も、だんだん、「創造国体・長崎」などに変わっていき、変遷が見てとれます。福岡の平成2年「とびうめ国体」も記憶に新しいかと思いますが、大会のサブタイトルも、「チャレンジ！おおいた」「おいでませ！山口」「長崎がんばらんば」とかスローガン風になってきて、去年は「燃ゆる感動かごしま国体」でした。

佐賀で国体が行われたのは、48年前。今48歳の方がお生まれになった頃かと思います。私は既に生まれている年ですが、昭和51年（1976年）に佐賀で開催。佐賀県の県木と県花は、楠のため、「若楠国体」という愛称で行われました。

48年前といいますと、今年60歳の方が当時12歳、小学校6年生ぐらいということで、60歳ぐらいの方に話を聞くと、自分が小学校6年の頃に体育の時間、運動会のときに練習をして、郷土のお祭りで踊る、面浮立^{めんぷりゅう}を披露した思い出があるとおっしゃいます。かなり心に残った大会のようです。

そしていよいよ今年2024年、SAGA2024が始まります。オリンピックは「ニーゼロニーヨン」と読めますが、SAGA2024の場合は「サガ ニーマルニーヨン」と発音しますので、よろしくお願いします。

この佐賀で開催される大会から国民体育大会が国民スポーツ大会に変わりますが、これは2018年の改正スポーツ基本法で決定されました。しかし、どういうふうに変えていくかという絵はないので、それを佐賀が最初、トップバッターとして、「スポーツ大会」の意味を一生懸命考えて、実行・実践している最中です。

競技は全部で95あります。種目となるともう少し細かくなってきます。これはあくまで競技の数です。簡単に幾つかかいつまみますと、国スポは73競技あり、正式競技はそのうち37競技です。正式競技というのは、一般によく知られているバレーボールやサッカー、剣道などです。特別競技というのは、硬式・軟式の高校野球です。夏の甲子園に出た上位校がこの大会に出ることもあり、人気の競技です。

公開競技というのは、綱引、武術太極拳など、正式競技ではないけれども競技人口が多い競技で、7競技が行われます。あと、デモンストレーションス



佐賀県有田町で開催された「皿かぶり競走」

ポーツという、誰でも参加できる競技もあります。これは、どちらかというとレクリエーションに近い要素もありますが、ご当地色が出るのもこの競技として、例えば有田焼で有名な有田町では、子供たちの運動会では必ず、素焼きの皿を頭に乘せて、落とさずに早歩きで競う「皿かぶり競走」というものがありまして、このデモンストレーションスポーツにもなっています。また、唐津の七山という地区で夏に行われる「滝登り」も、このデモンストレーションスポーツの一つです。

全障スポに関して言うと、正式競技はもちろん、国スポと同じく、バレーボールやバスケットボールがありますが、オープン競技は、競技人口は正式競技ほどではないですが、視覚障害の方のテニスであるブラインドテニスなどがあります。

国スポ・全障スポは、9月～10月が本番で、9月は会期前競技と呼んでいますが、デモンストレーションスポーツや全障スポのオープン競技などは、正式競技に先立ち、4月から開催しています。現在は、いろいろなリハサル大会を実施しながら、本番に向かっていきます。また、開催地は、佐賀県全

SAGA 2024 国スポ・全障スポ スケジュール

	4月～8月	9月	10月
国スポ	リハ大会 (～6月)	会期前競技① 9/5-9/17 公開競技 8/24-9/22 デモンストレーションスポーツ 4/21-10/13	会期前競技② 9/21-10/1 本会期 総合開会式 10/5 特別競技 10/6-10/9 総合閉会式 10/15
県外競技	馬術リハ大会 (兵庫県三木市) 6/1-2	カヌー (鹿児島県清水町) 9/13-16 ライフル射撃 (大分県由布市) 9/27-30	馬術(兵庫県三木市) 自転車 10/9-13 10/10
全障スポ	リハ大会① 4/28 リハ大会② 6/8-9	オープン競技 4/6-10/20	開会式 10/26 閉会式 10/28

なると彼らは2024年には、高校を卒業してしまう。少年種別として同じチームではもう出られなくなるということです。

だから、簡単に「ずれる」と言えないわけですが、とにかく、「ごめんね」と。これはコロナのせいであって、鹿児島のせいじゃない。誰のせいでもないから、みんなで痛みは分かち合わなきゃいけない。ただ、佐賀がずれると、佐賀の子供たちがすごく心が痛むといえますか、出られるはずが出られなくなってしまう。それをお願いして。彼らも、何とか「分かりました、自分たちは2023では出られないけれども、2024年の1個下の後輩たちに地力で頑張ってもらうために、自分たちも、佐賀で開催されているつもりで鹿児島での国体を頑張ります。」と言ってくれました。

その結果、2023年が鹿児島、2024年が佐賀という、初の2年連続九州開催となりました。さらに、鹿児島が最後の国体となり、そして2024年の佐賀県が最初のスポーツ大会となりました。

九州で2年連続して開催されることは、基本的にはありません。東日本・中日本・西日本が交代で回るためです。今回、史上初めての2年連続開催になったということで、これを我々は「双子の大会」と呼んでいます。佐賀の者にとっては、鹿児島も本番のつもり、逆もしかりということで、佐賀と鹿児島と一緒にやろうということになりました。

先ほど、ターゲットエイジの話をさせていただきましたが、一つだけエピソードといえますか、言っておかなければならないことがあります。先ほど、2023年に、高校生が、佐賀であるはずが鹿児島になったと申しましたが、それはそれで、大会そのものではなく、場所が佐賀じゃなくて鹿児島になったということで納得していただいたのですが、新体操少年男子だけはちょっと事情が違います。オリンピックでも、ソフトボールが競技から外れるとか、パリからブレイキンが始まるとか、競技の出入りがありますが、実は、新体操少年男子が国体の正式競技から外れて、やっと復活するのが2023年の佐賀の国スポからだったのです。当然、15年ぶりの復活だとみんな2023年を目指して頑張ってきたんです。ところが、佐賀の大会が1年ずれることで復活も1年ずれてしまっていて、結局、彼らの大会そのものが消えてしまったんです。

これはさすがにかわいそうだということで、鹿児島国体で正式競技となっている体操競技の他の種目



準優勝に輝いた、佐賀県の神埼清明高校

が終了した翌日に、これらの正式競技の種目が行われた同じ会場で、全国ブロックを勝ち抜いた子供たちの模擬全国大会を開きました。こういうことも行いながら、子供たちの気持ちに寄り添ってきました。

実は、佐賀と薩摩はもともと、江戸時代には、幕末佐賀藩の鍋島直正という藩主と、島津斉彬という薩摩藩の藩主が母方のいとこ同士で、近しい関係にありました。佐賀は反射炉で日本最初の鉄製の鉄砲を造りましたが、直正公が薩摩の斉彬公に、「こうやって造ればいいよ」と教えてあげているんです。それで佐賀の次に薩摩が鉄製大砲の製造に成功するんです。薩摩の島津斉彬公は、失敗が続く自分たちの部下をこう励ましたといえます。「西洋人も人なり、佐賀人も人なり、薩摩人も人なり」。だから屈せずには励むべしと。要するに、「ヨーロッパ人も佐賀人もすごいけど、彼らも人だ。薩摩も一緒だ。とにかく失敗を恐れずに頑張れ」と。それぐらいお互い切磋琢磨しあってきたのです。

そして、江戸時代から現代に時を移したいま、今回2年連続になったことで、スポーツ交流はもちろんですが、それ以外も、例えば鹿児島の焼酎と佐賀の日本酒、あるいは高校生のプレゼンテーション大会、あと修学旅行も行ったり来たり、工業製品とか、いろいろな分野での交流を「佐賀・鹿児島エールプロジェクト」と銘打ち、現在も続けています。プロジェクトが始まって以来、もう100回以上交流事業を行っています。

SAGA2024の新しいチャレンジ

我々が取り組む新しい大会について、具体的にご説明します。例えば国体に出場されたり、開会式をご覧になったことがある方は、お分かりいただける

と思いますが、開会式の各都道府県の選手団入場は、結構、整然と行進をやるんです。北から南からずっと順番に規律正しく入ってくる。こういうのをスポーツらしく楽しくやろうかということで、オリンピックのようにとは言いませんが、自由な雰囲気であって来て、順番も北海道からとか沖縄からではなく、佐賀の48年前の若楠国体の翌年から歴史をたどる順番で、いろいろな県がバリエーション豊かにという、今までと全く違う入場になってきます。

また、表彰制度でも新たなチャレンジを行っています。

そもそも国体、国スポは都道府県対抗の団体戦ということから、メダルという概念が基本的になく、賞状のみなのですが、佐賀では賞状だけではなく、メダルも作りました。形も八角形で、おめでたい数で八方広がり of 意図を込めています

また、国スポだけでなく、全障スポでも新たな表彰制度に取り組んでいます。例えばパラスポーツである全障スポでは、視覚に障害のある方の伴走者にも選手と同様にメダルを渡します。また、他にも、ボッチャという競技がありますが、手で投げるができない方は、滑り台にボールを置いて、トンとつついてボールを進める。その滑り台の角度や高さ、方向で狙ったところに行くのですが、それをサポートする人がいらっしゃいます。後ろを向いて、会場が見えない、ボールが見えない状態で、本人の意思を「もうちょっと上」とか「右」とかやりながら、「オーケー」と言って本人がポンと押す。このサポートする人をランプオペレーターといいます。この選手と一緒に戦う方にも選手と同様にメダルの授与を行うことを、全障スポでは初めて行います。

また、国スポの4位から8位にも、初めて記念品を授与します。これは佐賀県産磁器のお皿で、しょうゆを入れると「2024」が浮き出る遊び心も入れ、工夫しています。



新しい表彰制度も

先ほど団体戦と言いましたが、なかなか個人の頑張りに着目されることがない大会のため、あえて一人一人のアスリートに目を向けようと、特別賞として、個人賞みたいなものを初めてつくります。様々な賞を設けます。

新記録は分かりやすいですね。競技によって特性が違うので、MVP—いわゆるモスト・バリュアブル・プレイヤーやパーソン、一番頑張った選手みたいなこととか、MOM—マン・オブ・ザ・マッチといって、そのゲームで一番輝いていた人。苦しいときに頑張ったとか、それは監督が決めたりもしますけれども、そういう個人の頑張りで。最高得点とかは分かり



選手個人・チームの活躍に着目した表彰 ～ The Good Player of SAGA2024 ～			
競技毎に表彰基準を設定			
新記録	■ 陸上競技 ■ 水泳(競泳) ■ ウエイトリフティング ■ ライフル射撃 (10m, 50m, BR/BP)	個人成績	■ バスケットボール ■ 自転車 ■ 馬術 ■ 弓道 ■ カヌー ■ トライアスロン 他
	MVP、MOMなど ■ ホッケー ■ ハンドボール ■ ソフトボール 他		■ スポーツクライミング ■ 水泳(OWS) ■ 体操(競技) ■ 体操(新体操) 他
優秀選手	☆受賞選手やチームをHPで紹介！ ☆副賞で競技会開催地のアピールも！	個人優勝	チームで感謝を伝えたい選手 ■ 全障スポ 全団体競技
		チーム推薦	

やすいですね、得点王、個人優勝など、競技によって違いますが、こういう一人一人のアスリートに着目することにもチャレンジしたいと思います。

ナイトゲームにもチャレンジ

SAGA2024では、ナイトゲームにもチャレンジします。プロスポーツでは当たり前ですが、国体では競技は昼間だけで、結果、「(競技が) っているのは知っているけど、土日はさておき平日は見るのができない」となります。そこで、今回、夜でも楽しめるように初めて佐賀からナイトゲームにチャレンジしようじゃないかと。国スポでは、バレーボール(成年女子)、バスケットボール(成年男子)、レスリング(成年男子、女子)、スポーツクライミング(少年男子)の4競技、全障スポでは、バレーボール(聴覚障がい部)、陸上競技の2競技で取り組みます。数はそんなに多くないにしても史上初、夜でも楽しめる、夜にスポーツ観戦した上で、街にも繰り出してもらうなど、ビジネスも想定しながら展開していきたいと思っています。



次は動画配信の取り組みです。歴史的というとは大げさですが、昨今は世界中で様々な動画が配信され、もはや動画なしの生活は考えられないほどです。先ほど2020年のコロナのときの話をしましたが、高校生の高校総体、全国大会が中止になると、地区予選、県大会をしても結局全国大会がないものだから、軒並み県大会も中止というのが大きな流れでした。そのときに佐賀は、「全国大会がないとしても、優勝して全国に行けなかったとしても戦う。負けることも含めて大事」ということで、あえて無観客で開催し、試みとしてインターネットでの配信をやりました。ただ、そのときは、何せ初の取り組みで実況も

解説もなく、ただ試合を流していただけでしたが我々もだんだん慣れてきて、去年2023年、佐賀の選手が佐賀ではなく鹿児島で戦うことになったのときは、その子供たちの全ての試合をインターネットで中継し、実況と解説をつけて放送しました。

これがとても分かりやすかったと評判で、今回どこまで行えるかは分かりませんが、配信の数を大幅に増やし、実況や解説をつけながら実施したいと思っています。そして、`史上初、とあるのは、実は、全障スポは今まで動画配信がなかった。これも佐賀が初めて実施することになり、全国、どこからでも応援いただけるようにしていきます。

世界に類を見ない、 ガラスのトーチと炬火台

次は、トーチについて。今、パリでは聖火リレーがありますが、これは炬火^{きょか}といいますが、また、今までにないようなガラスでできたものです。

これは、吉岡徳仁さんという佐賀県出身の世界的なデザイナーが手掛けられたものです。彼は、東京オリンピックの桜のトーチをつくった人ですが、パリのオルセー美術館では、「ウォーターブロック」というガラス製の透明の椅子が有名な絵画の前に常設されており、それも、彼の作品です。

吉岡さんからのコメントを読みます。「国民体育大会から国民スポーツ大会に生まれ変わるということで、デザインを通して、世界でも類を見ない新しい試みに挑戦した。スポーツのように躍動感のある炎を生み出すことができれば、大会のメッセージを伝えることができるのではないかと思います」。そういう思いで、このガラスのトーチ、炬火台をつくってくださいました。



スポーツにこだわり、 運営面でも様々に工夫

開会式には、ゆかりのアスリートにたくさん御登場いただきます。最初の方は1988年のソウルオリンピックの金メダリスト鈴木大地さん。彼は奥さんが佐賀の人なんです。また、車いすテニスの大谷桃子さんですね、今回もパリで頑張ってもらいたいです。この他、サガン鳥栖、久光スプリングス、佐賀バルナーズといったプロスポーツ関係者が出演されます。埼玉西武ライオンズの辻 前監督も佐賀出身で、今回、4つの式典にご出演いただくことにしています。ちなみに、野球に関して言えば、広島東洋カープの緒方元監督も佐賀県出身で、一時期、西武対広島、両方の監督が佐賀出身なため、「同郷監督対決」として、佐賀県とタイアップして特別に交流試合を行ったこともあります。

次は、運営面での工夫です。先ほど少しお話ししましたが、会期前実施競技がたくさんありますが、これは一つには、集中する宿泊を分散させ、県内宿泊を最大限確保するということがあります。佐賀県内に宿泊施設がそう多くはないものですから、前倒しして泊まっていただける機会を分散させることで対応しています。また、県外で実施する競技もあります。先ほど言った四つの競技の施設は、わざわざお金をかけて造るのではなく、他県の会場を使わせていただくということも行っています。

あと、デザインも佐賀県は大変大事にしています。おしゃれというだけじゃなくて、意味合いとか機能性も含め。普通は——よその県を悪く言う意味じゃないですよ、「三重とこわか国体」とか「いちご一会とちぎ国体」とか、一般的には地元の特産物をもじったり、少し方言ばくしてみたり、色も楽しげにカラフルにやっていますが、佐賀の場合は、先ほど申したようにスポーツにこだわるということで、スタイリッシュに、いろいろ要らないことを書かずに、SAGA と、2024 年からスポーツに変わるということを意味する内容にしています。

また、普通の大会ですと、ゆるキャラをよく作ります。それはそれでいいんですが、ゆるキャラそのものが主役になるのではなく、先ほどメダルのときも言いましたが、やはり一人一人のアスリートに注目したいということで、ゆるキャラではなく本人をピクトグラムに変えました。実在のアスリートを

ピクトグラムにし、今、106 体を作っています。また、パターングラフィックスというベーシックなデザインも、競技で使う様々なボールや、コートラインなどをモチーフにしており、スポーツにこだわったデザインにしています。

そして、これはとても大事なんですが、こういう大きな大会をやると、県は県で発注する、市町は市町で発注する、結果、制作物のデザインがバラバラで、とても同じ大会に見えないとなってしまう。そうならないように、県がデザインを全部管理して、市町にも「そういう場合は、こういうデザインがいいですよ」「ピクトグラムとこの文字は統一しましょう」など、アドバイスしながら県全体で統一が取れるようにしています。



これも一つの事例ですが、佐賀駅は、48 年前の若槻国体のときに移転しているんです。移転時に高架化し、2 階にあったホームの外壁に透明のパネル、「防風スクリーン」を設置されました。それが長年のうちにもう透明感がなくなっていたんですね。それを「きちんときれいにしたほうがいいですよ」という話を県のほうで提案させていただいて、きれいになるついでに、「じゃあ、ピクトグラムで装飾しましょう」となったのですが、こういう使い方——この透明な部分にいろいろなロゴを入れたり、は、史上初だと JR 九州さんもおっしゃっておいりました。

そのように駅を拠点にいろいろな装飾が進んでいきます。これからどんどん、福岡空港とか博多駅、佐賀駅はもちろん佐賀空港、県内外のいろいろなところで、この模様が夏から秋にかけて一気に広まっていきますので、見かけたら、「ああ、このことかな」と思っただければ幸いです。

こういうピクトグラムのデザインは、我々が発信

するのもですが、このモデルになられた方は、実在のアスリートですから、その人にもスポットを当てながら、様々な展開をしています。



JR九州と取り組んだ佐賀駅ラッピング

新しい大会をみんなでつくる、 IDEA2024

次は「IDEA2024」というプロジェクトです。“国体”から“国スポ”に変わる今、みんなで何ができる？と、3年間かけて、県内外の皆さんからアイデアを募集しました。2024年にちなんで、2,024個以上のアイデアを募集しよう、そして募集した結果、「これいいね」というものは実現しようということで実施したところ、2,106個と目標を上回る数が集まりました。大会の在り方を変える様々なアイデアの中には、先ほどからご紹介した、ナイトゲームや個人表彰など、「新しい大会」としてカタチになったものがたくさんあります。そして、それ以外にも面白いアイデアについては、年に1回、審査し、審査会では、様々なトップアスリートが議論をし、て「これいいね」と、採用するアイデアを決定してきました。一例としては、スポーツが苦手な人も、スポーツ漫画だったら、スポーツはできないけど身近に感じられるんじゃないかと提案がありまして、その提案を基に、県庁の地下にいろいろなスポーツ漫画の1巻だけ全部そろえることから始めました。今はもう、1巻だけでなく全巻揃っているものもありますが、これが地域の図書館にも広がっていった、「じゃあ、うちでもやろう」「漫画だけじゃなくてスポーツコーナーをつくろう」と広がっています。

この他にも、採用・実現したアイデアには、こんなものがありました。では、授業や部活で、プロスポーツ選手など一流の人に教えてほしい、そういう夢をかなえたい、というアイデアです。このアイデアを実現し、佐賀のプロスポーツ選手が子供たちに

ぜひいたく授業をするということをやったりしています。授業では、プロスポーツ選手から、着眼点とか考え方にはじまり、食についても、「お菓子ばかり食べないほうがいいよ」なども含めて、結構赤裸々に言ってくれ、子供たちには大いに刺激になったようです。

また、お父さんとかおじいちゃん、みんなワーワー言いながら、赤ちゃんも大人も子供も参加できる「赤ちゃんハイハイ競争」だったり、世代を超えて、大人も子供もみんな参加できるウォーキングフットボールという走らないサッカーをもっと広めるための体験会も提案から生まれました。また、SAGA2024では、いろいろな競技が実施されるので、佐賀の温泉や食をスポーツと絡め、観光みたいにできないか、というアイデアもありました。これを本気で実現しようということで、福岡のLOVE FMと組み、ラジオのDJと一緒にいくバスツアーを実施することになりました。佐賀・吉野ヶ里満喫ツアー、伊万里・武雄満喫ツアー、唐津満喫ツアー。それぞれ、アーティストックスイミング、ビーチバレー、セーリング（パブリックビューイング）など、海系の競技が多いですけれども、自然を感じながら、スポーツと佐賀の観光を楽しんでいただくプランが出来ました。

また、「スポ×イズム」というスポーツアスリートを紹介するテレビ番組も、実はIDEA2024で寄せられたアイデアから着想を得て生まれました。「スポーツ選手を見るとときに、競技そのものもいいけれども、背景、裏話もあったら面白いね」ということで、アスリートが競技に真摯に取り組む様子と、競技を離れて見せるプライベートな一面“アナザー・ストーリー”も紹介する番組を作りました。現在、アーカイブをYouTubeで公開していますので、よかつ

IDEA2024 ～全国からアイデア募集～

たら御覧ください。

そのほか、この IDEA2024 では、2,024 円の高級ブラックモンブランを作ったらどうかとか、学校のチャイムをホイッスルにしたらどうかとか様々な面白いアイデアが出てきました。

「する」「観る」「支える」 すべての人に、スポーツのチカラを。

スポーツには、する・観る・支える、いろいろな関わり方があります。これまでの、“体育”はどちらかというと、「する」本人の鍛錬とか教育という要素が強いです。`スポーツ、はそういう比較で言うと、「観る」「支える」、みんなで楽しんだり、応援をしたり、エンタメ性があり、みんなでつくり上げる。こういう要素の広がりがあります。

その「する」の中でも、少し紹介しますと、国スポには、皆さんが参加できる、デモンストレーションスポーツがあります。28ある競技の中にはウオーキングもあるんです。また、ユニークなところでは、「スポ GOMI」といって、ごみ拾いをスポーツにしたものもあります。いろいろなものが「する」という形で体験できます。



また、「観る」ことも、スポーツを楽しみ、盛り上げるために、とても大事だと思っています。現在、8月完成予定で初めて競技を観る人でも分かりやすい「観戦ガイドブック」を作っています。競技を見るときに、そのスポーツを知らない人は、「どっちが勝ちなのかよく分からない」みたいになるので、そのスポーツを知らない、詳しくない人でも、分か



りやすく、試合観戦が楽しめるガイドブックです。それを手に持って、まあスマホやタブレット、パソコンなどインターネットでも見る事ができるようにしますが、楽しめるようにしますので、オンラインでの競技の動画配信も含めて、そういう見る楽しみをこれから伝えていこうと思っています。

そして「支える」。SAGA2024は、多くの人に支えられて行われる大会です。佐賀県では、ボランティアも、試合をつくる主役の一人、「ゲームズメーカー」と考えており、特別な名前でお呼びしています。「佐賀」と「フロンティア」を掛け合わせた造語で、「Sagantier! (サガンティア)」。これには、佐賀から新たなスポーツシーンを切り拓く、という意味を込めています。

また、多くの協賛企業にも支えていただいています。九州ミロク会計人会様も企業協賛ありがとうございました。SAGA2024 公式ホームページのトップページの下部に「大会協力企業」としてお名前をご紹介しますので、ぜひ、ご覧ください。



九州ミロク会計人会への感謝状贈呈

すべての人の背中を押す エールソング

そして最後に、「Batons」という、SAGA2024の公式イメージソングをご紹介します。普通どうしても、こういう大会ソングをつくる時は、歌詞の公募をかけて、それに曲をつけて、何となく方言が入ったり、佐賀だと何か、「よかばい」「来んしゃい佐賀」みたいな歌になりがちですが、佐賀県では、ご当地色のない、永く歌い継がれていくような、普遍的な歌をめざして、音楽を生業としているプロたちが集結して作りました。タイトルは、先ほど言った「する・観る・支える」、多くの人がバトンをつなぎ合うという意味で「Batons ～キミの夢が叶う時～」としました。

これを歌っているのは鷺尾伶菜さんといまして、EXILEというグループの妹分でE-girlsという、ダンス&ボーカルユニットでメインボーカルで活躍されていた、佐賀県唐津市出身の歌手です。昨日、初めてサガン鳥栖の試合が始まる前に、この生歌を披露してくださいましたが、とても素晴らしい歌声です。この「Batons」は、SAGA2024の公式ホームページでも聴けますし、佐賀の方は、街中などあちらこちらで流れていて、耳にされる機会も多いと思います。しかし、この歌は佐賀だけではなく、SAGA2024が終わった後も全国で歌い継がれてほしいと願って作りましたので、ぜひ聴いてください。実はこの「Batons」は、全国のカラオケで歌えます。DAMとJOYSOUNDという2大メーカーで導入し

ていただいております、スナックでも、カラオケハウスでも歌えますので、皆さん、飲み会の後にカラオケに行かれるときには、「Batons」と入れると歌えます。

— SAGA2024 イメージソング —

Batons ～キミの夢が叶う時～

歌 鷺尾伶菜 (唐津市出身) 作詞 326 (佐賀市出身) 作曲 千綿偉功 (佐賀市出身)

佐賀県出身のアーティストが集い
みんなの思いが詰まった
イメージソングができました！

＼こちらから／

視聴やアーティスト情報等はコチラ

QRコード

SAGA2024 イメージソング

SAGA 2024
新しい大会へ

ちょっと駆け足になりましたが、〴〵体育、から〴〵スポーツ、に変わる初めての大会が、SAGA2024です。全国で初めての試み、チャレンジを行っています。もちろんうまくいかないこととか、いろいろなことがあるかと思いますが、そういう失敗面も含めて、みんなでスポーツの在り方を、佐賀だけじゃなくて九州全体、そして全国で考えて、せっかく最初の新しい大会ですから、スポーツ文化を発展させ、日本全体のスポーツがよりよくなるように頑張りたいと思います。ぜひ応援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

本日は大変ありがとうございました。



筑後地区会 第35回定期総会を開催

充実した定期総会



令和6年7月2日（火）ハイネスホテル久留米において、筑後地区会第35回定期総会が開催されました。昨年の総会は7月11日に開催しましたが、前日の10日、久留米市は大雨により大きな被害を受けました。今年も1日が大雨でしたので、総会及び研修会の開催が危ぶまれましたが、当日は天気が回復し無事開催できました。

総会は長谷会長が議長に選出され、第1号議案「令和5年度事業報告及び決算承認の件」について説明後、小坂田監事による監査報告がなされ、原案通り承認可決されました。続いて第2号議案「令和6年度事業計画及び予算（案）承認の件」

について議長から説明があり、審議の結果承認可決されました。事業計画では、例年通り3回の研修計画が承認されました。次に第3号議案「役員改選について」では、監事及び理事の一部の交代がありましたが、原案通り承認されました。第4号議案では、第48回全国統一研修会東京大会の案内があり、多くの筑後地区会員で参加したいことを確認し総会は閉会しました。

第2部研修会は、午後1時30分から「相続税の重要テーマポイント解説」というテーマで、MJS 税経システム研究所客員研究員で税理士の武田秀和先生からご講義いただきました。特に「資産移転の時期の選択に中立的な税制」について詳しく解説頂き、また、名義預金、未分割申告など実務的な側面からも解説頂いて大変参考になりました。

第3部懇親会は、同ホテルにて、武田先生、MJS 高木支社長及びMJSの皆様をご来賓として迎え、武松理事の司会進行により和気藹々と様々な話題で盛り上がりしました。懇親会終了後は、まだ明るい久留米市街を文化街方面へと向かいました。

（筑後地区会 長谷 広信）

北九州地区会 定期総会・懇親会を開催

議案は満場一致で可決

令和6年7月12日（金）門司港レトロの象徴である旧門司三井倶楽部において北九州地区会の定期総会が開催されました。総会は、野村理事の開会の辞で始まり、小林地区会長の挨拶の後、中山理事が議長に選任され、各議案の審議に入りました。

第1号議案 令和5年度事業報告及び承認について

第2号議案 令和5年度決算報告及び承認について

小林会長から、各種研修会や親睦会等の開催内容について説明があり、淵上監事による監査がされたことが報告されました。

第3号議案 令和6年度事業計画（案）及び承認について

第4号議案 令和6年度予算（案）及び承認について
各議案の審議の結果、すべての議案について満場一致で可決承認されました。



最後に、ご来賓のMJS九州沖縄圏統括部長の鈴木執行役員からご祝辞をいただき、白石理事の閉会の辞により総会は無事終了となりました。

その後、同倶楽部で懇親会が開催され、エヌエヌ生命保険の方々やMJSの職員の方々にもご参加いただき、ふぐ刺しや焼きカレーなど地元料理を堪能しながら、大いに盛り上がりしました。

（北九州地区会 中山 淳）

福岡地区会

定期総会・懇親会を開催

親睦を深めた一日

令和6年7月5日（金）午後4時30分より福岡地区定期総会がMJS福岡支社研修室にて開催されました。

総会は、川野総務委員長の司会により始まりしました。来賓の紹介が行われ、外園副会長が開会の辞を述べました。物故会員に黙祷を捧げてご冥福を祈りました。東会長の挨拶の後、議長選出へと移りました。「執行部一任」の発言があり、宮下会員が議長となり、また、議事録署名人として石橋会員、田端会員が指名され、議案の審議に入りました。

議案1 令和5年度事業報告及び承認について

議案2 令和5年度決算報告及び承認について

川野総務委員長及び行時財務担当より事業報告及び決算報告について説明があり、柳武監事より監



査報告がなされました。審議の結果承認可決されました。

議案3 令和6年度事業計画及び予算案承認について

川野総務委員長及び行時財務担当よりそれぞれ説明があり、審議の結果承認可決されました。

議案4 役員選任について

川野総務委員長が役員候補者名簿を提示して説明し、東会長以下異議なく承認可決されました。

以上で議案審議が終了しました。議長降壇後、来賓のMJS九州沖縄圏統括部の高木副統括部長（兼）福岡支社長から祝辞が述べられ、最後に大松副会長の閉会の辞により総会は無事終了しました。

総会終了後、割烹よし田に場所を移して懇親会が開催されました。美味しい料理と飲み物で大変賑やかな懇親会となり、大いに親睦を深めました。

（福岡地区会 古賀 照章）

プロ野球観戦

久しぶりの優勝目指して

令和6年9月6日（金）福岡地区会はずほPayPayドームでのプロ野球福岡ソフトバンクホークス対埼玉西武ライオンズ戦を観戦しました。ドーム5階のJALスカイビューシートにMJSのスタッフを含めて約100名の参加がありました。

今年は若手選手の活躍が光り春先から独走状態で、当日には早くも優勝マジック15が点灯していました。試合は先発の有原投手が好投しましたが、チャンスで打線が沈黙し、なかなか点が入り



ません。結局西武ライオンズが1点を守り切り、完封負けでした。ピュッフェスタイルの食事とアルコールも入り久しぶりの優勝に向けて応援に熱が入りましたが残念です。故障者が増えて厳しい状況で、マジックがなかなか減りませんが、何とか日本一を目指して頑張ってもらいたいものです。

（福岡地区会 空閑秀樹）

大分地区会 記念講演会・定期総会・懇親会を開催

熱心に耳を傾ける参加者

令和6年7月2日（火）、大分市のJ:COM ホルトホール大分において九州ミロク会計人会大分地区会第22回定期総会が開催されました。

定期総会に先立ち、MJS 税経システム研究所 客員研究員である税理士の石井幸子先生による記念講演会「インボイス制度開始後の税額計算・申告書作成の留意点」が行われました。講演会には会場受講21名、Web受講の17名が参加し3時間の講義を皆熱心に聞き入っていました。

講演終了後、会場出席21名、Web出席17名によって九州ミロク会計人会大分地区会第22回



定期総会が芦刈太一郎会員の開会の辞により開催されました。衛藤勉会員の司会により泉比呂志会長が議長となり令和5年度事業報告及び決算報告があり、山崎雄三会員より監査報告の後に承認されました。その後、令和6年度事業計画案及び予算案が提案され全会一致で承認されました。岩尾大輔会員の閉会の辞により無事定期総会が終了しました。



定期総会終了後、同じくJ:COM ホルトホール大分のカフェレストランホルトガーデンに場所を移し懇親会が開かれました。本日の講演会の講師、石井幸子先生にも参加いただき総勢34名参加の懇親会は盛り上がりとともに和やかなうちに終了しました。

（大分地区会 梶原 康弘）

佐賀地区会 定期総会・懇親会を開催

定期総会に向けて一致団結

令和6年6月28日（金）武雄市の湯元荘東洋館において、佐賀地区会定期総会が開催されました。総会は、山口会長が議長となり、第1号議案「令和5年度事業活動及び収支報告の件」、第2号議案「令和6年度事業計画及び収支予算（案）の件」が慎重な審議の上承認可決致しました。

ついで、今年度は役員任期が満了となるため、第3号議案「役員改選の件」の審議がなされ、吉村耕輔新会長以下3名の理事就任が承認され



ました。

また、その他の議案では、今年度は、佐賀の地で九州ミロク会計人会の定期総会が行われるため、会員の協力を呼び掛けて総会は無事終了しました。



その後、ご来賓のMJS 執行役員・九州沖縄圏統括部長 鈴木和人氏の乾杯のご発声により懇親会が開催されました。コロナが5類に移行して1年が経過していることもあり、笑顔あふれる賑やかな懇親会となりました。懇親会の最後は、白川秀樹会員による一丁締めでお開きとなりました。

ご多忙の中、ご出席いただきましたご来賓の皆様を始め参加された会員の皆様に感謝申し上げます。

（佐賀地区会 池田 健一）

長崎地区会

第 36 回定期総会・懇親会を開催

地元愛に溢れた懇親会



令和 6 年 7 月 8 日（月）長崎市内のサンプリエールにおいて、「新 AI - OCR 入力・AI 仕訳・AI 監査支援をどう活用するのか」と題した研修会が行われ、続いて長崎地区会の第 36 回定期総会が開催されました。

総会は、笠戸智仁会員の司会のもと草野恒史会長の挨拶に始まり、議長に雪澤知之会員が選出され、令和 5 年度事業報告及び決算・監査報告、役員改選、令和 6 年度事業計画及び収支予算（案）についてそれぞれ説明があり、慎重審議の結果全ての議案が承認可決され無事終了しました。

総会終了後は同会場にて、(株)日本政策金融公庫、大同生命保険(株)、MJS などご来賓の方々をお招きし、和やかな雰囲気の中で懇親会が開催されました。

懇親会の中盤には MJS の支社長を筆頭に、社員の皆さんによる恒例の自己紹介タイムがあり、新入社員からベテラン社員まで、個性溢れる PR で会場は大変盛り上がりしました。

また、小松隆盛会員のマンドリンの演奏により、「長崎は今日も雨だった」「精霊流し」「長崎の女（ひと）」の 3 曲が披露され、長崎愛に溢れた空間を各々楽しんでいる様子でした。



猛暑の中、ご出席いただきましたご来賓の皆様をはじめ会員の皆様、本当にありがとうございました。来年は、MJS 社員の皆さんによる余興を期待しております。

（長崎地区会 笠戸 智仁）

熊本地区会

研修会・定期総会・懇親会を開催

魅力ある会、楽しい会に

令和 6 年 6 月 7 日（金）KKR ホテル熊本において、研修会、定期総会、懇親会が開催されました。

研修会では、(株)キューイシステム 代表取締役栗田博成氏による「補助金採択のための事業計画作成のポイント」と題してご講演をいただき、対策のスキルを仕込むこと、補助金を利用し業績を



上げるリアルな事業計画を作ること等、大切なポイントを再確認できました。

定期総会では、第 1 号議案から第 3 号議案（役員改選）が審議され、すべての議案が承認可決されました。新たな方々も理事に就任され、続投の碓塚会長から「魅力ある会、楽しい会にしたい」と真っ直ぐで力強いご挨拶があり、自然と顔がほころびました。

和やかな雰囲気のまま、総会後の懇親会では、MJS 社員の皆様方とも楽しい時間を過ごし、沢山笑って元気をチャージしました。

時代は「DX」、会計人会の現状につきましても、課題が山積みで変革が必要ですが、「何のために」という目的を明確にしながら、皆様との楽しいひと時は継承していきたいなと思いました。

（熊本地区会 河上 侑子）

宮崎地区会

鹿児島・宮崎地区会の合同研修会及び懇親会開催

研修・懇親会と有意義な時間

令和6年6月14日(金)に、宮崎県都城市にある TERRASTA 会議室において、鹿児島・宮崎地区会の合同研修会が開催されました。講師には、MJS 税経システム研究所客員研究員で、税理士の長野匡司先生をお迎えし、「インボイス制度開始後の消費税の税額計算と申告書の書き方」というテーマでご講演いただきました。

昨年10月より、インボイス制度がスタートしましたが、その制度の概要から申告書・付表の書き方、2割特例など、具体例を利用して分かりやすくレクチャーしていただきました。30名ほどの受講者の皆様も、実務に沿った内容に、かなり



満足していただけたと思います。

研修会終了後は、都城駅近くの「ろばた焼き明石」で懇親会を行いました。講師の長野先生にもご参加いただき、MJS からの参加者4名を含め、計12名の方々にご参加いただきました。美味しい料理に舌鼓をうち、鹿児島の先生方との交流を図りながら、非常に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

午後から長丁場の1日となりましたが、研修に懇親会と、有意義な時間を過ごすことができました。今後も、合同での研修会を企画していきたいと思います。

(宮崎地区会 長谷川 裕)

鹿児島地区会

記念講演会・定期総会・懇親会を開催

今年は「6」が多い日に総会・懇親会

令和6年6月6日(木)午後6時より「味の八坂」に於いて、今年も顔なじみの先生方が集まり鹿児島地区会総会を開催しました。

議案審議について、今年は私、西山が議長を務め、予定された「令和5年事業報告と監査報告」「令和6年度事業計画」など、すべての議案が滞りな



く承認・可決されました。

また、「第48回全国統一研修会・東京大会」に鹿児島地区会からも多

くの方が参加できるように旅費の一部を補填することが決定されました。

その他、レクリエーション等は昨年好評だった市電の貸し切り懇親会やボウリング大会、若手の勉強会等が企画されております。

その後、懇親会も大盛況のうちに終わることができ、鹿児島地区会の発展に寄与する事を心に留め、それぞれが二次会の店に消えていきました。

(鹿児島地区会 西山 勝)



先日、有明スカイパークふれあい郷で開催された「テミスの女神」という舞台を観劇しました。この舞台は、戦後の食糧難時代に闇米を拒んで亡くなった佐賀県白石町出身の山口良忠判事を描いたものです。

山口判事は戦後、裁判官として食糧管理法に基づいて闇米に関わる人を裁く立場にあったことから、自分は配給以外の食糧を口にせず、栄養失調で肺結核を患い、33歳で亡くなられたそうです。ちょうど同時期に放送中だったNHK連続テレビ小説「虎に翼」に登場する花岡悟のモデルとされている方です。

当時、配給される食糧自体もそれほど多いとは言えず、また配給が遅れたり欠配したりすることもあったそうです。そのような戦後の混乱で厳しい時代の中、良心に従い信念を貫くことを選択した山口判事の生き様に触れ、色々と考えさせられました。実際、親

何を選び行動するか

◆佐賀地区会
山口直孝



として、子として、夫として、裁判官（職業的専門家）として、称賛する声もあれば批判する声もあったようです。

今の時代、信念と生命を直接天秤にかけるほどではないにしても、法改正や人口減少、AI技術の発展などあって税理士を取り巻く環境も大きく変化しています。しかし、いつだって、今置かれた状況の中で何を選択していくかを見極めて行動していくしかないことは変わらないのかもしれません。

編集後記

九州ミロク会計人会の定期総会で佐賀まで行ってまいりました。

当日は猛暑にもかかわらず、昨年を超える数の会員が佐賀の地に集い、懇親会ではミス・ジャパンの登場もあり、特に男性陣は異様な盛り上がりを見せておりました。

佐賀地区会の皆さん、大変お世話になりました。

今年度も各地区会で活発な事業活動が実施されるとのことなので、しっかりアンテナを張り巡らせて、活動状況をできるだけ詳しく会員の

皆さんにお伝えしていきたいと思います。

余談ですが、9月の広報委員会は鹿児島で開催され、夜は残暑も忘れてご当地料理と美酒に酔いしれ、ミス・ジャパンがいなくても異様な盛り上がりを見せておりました。



（長崎地区会 笠戸 智仁）

令和6年度認定研修開催予定のご案内

*講師はMJS 税経システム研究所所属です。*ハイブリッド開催は、会場受講とweb受講の選択ができます。

申込方法

Web研修会は、MJSのホームページよりお申込みください。

*開催1~2ヶ月前にホームページへ掲載いたします。

① MJSホームページ(<http://www.mjs.co.jp/seminar>)の『セミナー一覧』

あるいは右記のQRコードからお申込みください。

ご不明な点はお問い合わせください。(事務局電話番号:092-481-3285)

② 申込みページで、氏名、メールアドレス等必要事項を入力します。

③ 受付完了のメールが送付されて完了です。

*受付完了メールが届かない場合は、メールアドレスをご確認の上再度お申し込みください。



主催：九州ミロク会計人会

*九州北部税理士会・南九州税理士会認定申請予定

*日本FP協会継続教育単位認定申請予定

企画地区会	日時	認定時間	行事内容	講師等	開催形式
1 熊本	10月2日(水) 13:30~16:30	3	士業の必要経費を検証する	税理士 守田 啓一 氏 MJS 税経システム研究所客員講師 NHB 税理士法人	会場
2 佐賀	10月4日(金) 13:30~16:30	3	外国人材の登用と税務 ～在留資格の確認、ハローワークへの届出、 そして居住形態の判定～	税理士 望月 文夫 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 青山学院大学大学院特任教授、税理士	会場
3 福岡	10月9日(水) 13:00~17:00	4	法人税の基礎講座 ※8時間研修を9月・10月で2回に分けて開催 【前編】9月11日(水)開催済み	税理士 竹内 秀男 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 税理士法人 竹内会計 代表社員	ハイブリッド
4 大分	10月17日(木) 13:30~16:30	3	中小企業の事業承継・M & A・経営者保証 ～法律上と実務上の留意点～	川島 いづみ 氏 MJS 税経システム研究所顧問 早稲田大学社会科学総合学院教授	ハイブリッド
5 福岡	10月22日(火) 13:30~16:30	3	株式譲渡・相続・贈与に役立つ非上場株式の 税務上の評価Q & A (基本編)	公認会計士 税理士 行政書士 ITコーディネーター 成田 一正 氏 MJS 税経システム研究所客員講師 税理士法人おたか特別顧問	ハイブリッド
6 長崎	10月25日(金) 13:30~16:30	3	公益法人制度がこう変わる！ ～改正項目と会計基準の方向性～	税理士 丹多 弘一氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 丹多弘一税理士事務所 所長	LIVE 配信
7 福岡	11月22日(金) 13:30~16:30	3	税理士が行う遺言作成サポート ～知っておきたい遺言の知識、民法改正による 影響を踏まえて～	税理士 佐々木 京子 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 税理士法人平川会計パートナーズ	ハイブリッド
8 長崎	12月2日(月) 13:30~16:30	3	個人課税の誤りやすい点について (その2)	税理士 植田 卓 氏 MJS 税経システム研究所顧問 植田会計事務所 所長 立命館大学客員教授	ハイブリッド
9 福岡	12月6日(金) 13:30~16:30	3	企業におけるリモート・ワークの活用と実務対応 労務・法務に係る諸問題	弁護士 近藤 勝彦 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 渡部衛一法律事務所	LIVE 配信
10 筑後	12月11日(水) 13:30~16:30	3	譲渡所得調査のポイントはここだ！ ～調査する側から、譲渡所得はこう見える～	税理士 武田 秀和 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 武田秀和税理士事務所 所長	会場
11 佐賀	12月13日(金) 13:30~16:30	3	株式譲渡・相続・贈与に役立つ非上場株式の 税務上の評価Q & A (上級編)	公認会計士 税理士 行政書士 ITコーディネーター 成田 一正 氏 MJS 税経システム研究所客員講師 税理士法人おたか特別顧問	会場
12 福岡	令和7年 1月16日(木) 13:30~16:30	3	令和6年度所得税確定申告のチェックポイント	税理士 竹内 秀男 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 税理士法人 竹内会計 代表社員	ハイブリッド
13 大分	令和7年 1月17日(金) 13:30~16:30	3	更正の請求制度の論点 ～制度の内容及解釈上の問題点を検証する～ *タイトルは変更になる場合がございます	中央大学名誉教授・税理士 大淵 博義 氏 MJS 税経システム研究所顧問 大淵博義税理士事務所 所長	会場
14 長崎	令和7年 3月21日(金) 13:30~16:30	3	小規模宅地等の特例解説 ～損害賠償請求を受けないために～	税理士 中島 孝一 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 中島税理士事務所 所長	ハイブリッド
15 筑後	令和7年 3月25日(火) 13:30~16:30	3	役員退職給与に関する税務上の留意点	税理士 武田 秀和 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 武田秀和税理士事務所 所長	会場
16 福岡	令和7年 3月27日(木) 13:30~16:30	3	自主廃業の法務・会計・税務の実務と事例研究法	公認会計士 税理士 棟田 裕幸 氏 MJS 税経システム研究所客員研究員 一番町共同会計事務所 統括代表パートナー 株式会社 BSM 代表取締役	ハイブリッド